

# 江の川上流水害タイムライン

## 《令和元年度版》



令和元年8月30日  
江の川上流水害タイムライン検討会

# 目 次

1. 江の川上流水害タイムラインとは	P1
1-1 江の川上流水害タイムラインの概要	P1
1-2 江の川上流水害タイムラインの運用	P1
1-3 江の川上流水害タイムラインにおけるレベル設定の考え方	P2
1-4 江の川上流水害タイムラインのレベル移行の考え方	P3
2. 江の川上流水害タイムライン（令和元年度版）	P4

# 1 江の川上流水害タイムラインとは

## 1-1 江の川上流水害タイムラインの概要

江の川上流水害タイムラインは、江の川上流域の住民の命を守り、さらに社会経済被害を最小化することを目的に、時間軸に沿って江の川上流域の防災機関等（37機関）が災害に対する役割や対応行動を防災行動計画として取りまとめたものであり、災害対応を迅速に進めるための手段の一つである。

本タイムラインは、各機関の行動項目のチェックリストとして活用し、多機関が連携している項目を共有できる。

また、本タイムラインは令和元年度から適用し、毎年、出水期後に運用実績に基づき振り返り、課題等があれば改善し必要に応じて改定することとする。

## 1-2 江の川上流水害タイムラインの運用

江の川上流水害タイムライン（令和元年度版）の運用については以下を基本とする。

**対象事象**：洪水、内水、土砂災害

**運用機関**：三次市、安芸高田市、警察、消防、自衛隊、

ライフライン機関、交通・運輸機関、福祉避難施設、浸水時緊急退避施設、報道機関、広島県、気象庁及び国土交通省

**運用期間**：立ち上げ（台風または前線性に伴う降雨が、3日後に江の川上流流域へ影響する恐れ）から、水防団待機水位を下回り、かつ大雨警報（浸水害）及び洪水警報が解除されるまで

**その他**：避難勧告着目型タイムライン※<sup>1</sup>は、多機関連携型タイムライン※<sup>2</sup>である江の川上流水害タイムラインへ移行する

※<sup>1</sup>：避難勧告着目型タイムラインとは、市町村長による避難勧告等の発令に着目して、河川管理者と市町村等が協力して策定・運用するタイムライン

※<sup>2</sup>：多機関連携型タイムラインとは、河川の特徴に応じた多様な防災行動を対象として、多くの関係機関が連携して策定・運用するタイムライン

### 1-3 江の川上流水害タイムラインにおけるレベル設定の考え方

タイムラインのレベルは、気象情報、河川水位の基準水位超過状況及び、洪水予報の発表情報によって設定されており、防災行動を実施するための基準となるものである。

各レベルに対応する主なトリガー（気象状況等）を下表に示す。

各レベルにトリガーが複数ある場合は、河川水位状況を主要な要素として総合的な判断により三次河川国道事務所がレベルを決定し、メーリングリストにより通知する。

なお、中小河川の氾濫や土砂災害については、局所的な災害となる場合が多いことから、当面はタイムラインレベル設定の対象としないこととし、各機関で適宜情報を把握して対応することとする。

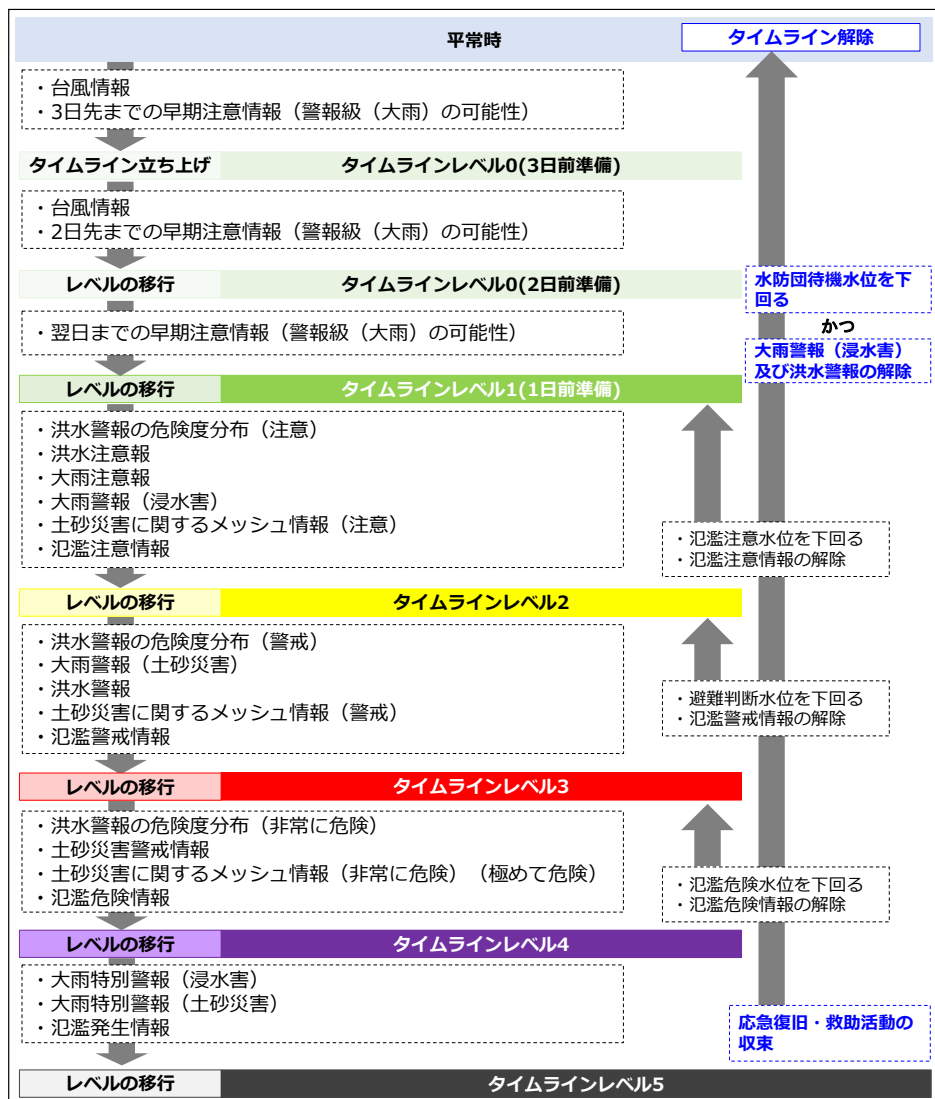
#### ◎タイムラインレベルと主なトリガー

タイムライン レベル	トリガー（気象予警報、河川情報、水位超過、現象等の目安）	
	洪水・内水	土砂災害
レベル0 (3日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風：3日後に台風が江の川上流域に影響するおそれ</li> <li>・前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：3日後に影響】</li> </ul>	
レベル0 (2日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風：2日後に台風が江の川上流域に影響するおそれ</li> <li>・前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：2日後に影響】</li> </ul>	
レベル1 (警戒レベル1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期注意情報（翌日までの警報級の可能性）【目安：1日後に影響】</li> </ul>	
レベル2 (警戒レベル2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水注意報</li> <li>・洪水警報の危険度分布（注意）</li> <li>・大雨警報（浸水害）</li> <li>・氾濫注意情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨注意報</li> <li>・土砂災害に関するメッシュ情報（注意）</li> </ul>
レベル3 (警戒レベル3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水警報</li> <li>・洪水警報の危険度分布（警戒）</li> <li>・氾濫警戒情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨警報（土砂災害）</li> <li>・土砂災害に関するメッシュ情報（警戒）</li> </ul>
レベル4 (警戒レベル4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水警報の危険度分布（非常に危険）</li> <li>・氾濫危険情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒情報</li> <li>・土砂災害に関するメッシュ情報（非常に危険）</li> <li>・土砂災害に関するメッシュ情報（極めて危険）</li> </ul>
レベル5 (警戒レベル5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨特別警報（浸水害）</li> <li>・氾濫発生情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨特別警報（土砂災害）</li> </ul>

## 1-4 江の川上流水害タイムラインのレベル移行の考え方

タイムラインの立上げ及びレベル移行・解除は、三次河川国道事務所が主体となつて、台風及び前線性降雨による広島県への影響を考慮し、タイムライン検討会メンバーに情報提供を行う。

また、被害が発生しなかった場合は、タイムラインレベルの基準に準じて引き下げを行う。なお、水位が水防団待機水位を下回り、かつ大雨警報（浸水害）及び洪水警報が解除された場合は三次河川国道事務所がメーリングリストにより通知する。被害が発生した場合（レベル5に到達した場合）は、応急復旧や救助活動が収束するまでレベル5を維持し、応急復旧や救助活動が収束した段階でタイムラインを解除し、メーリングリストにより通知する。



## 2. 江の川上流水害タイムライン ＜令和元年度版＞

# 江の川上流水害タイムラインの見方

# 「いつ」

◆ タイムラインレベル  
 防災情報の発表のタイミングと、防災行動を切り替える（レベル移行する）タイミングを関連付けて整理

**タイムラインレベル2：氾濫注意水位超過、内水氾濫発生**  
 トリガー：洪水警報の危険度分布（注意）、洪水注意報、大雨注意報、大雨警報（浸水害）、土砂災害に関するメッシュ情報（注意）、氾濫注意報

項目No.	防災行動項目			役割																		
	第1階層 (行動種別)	第2階層 (行動項目)	第3階層 (行動手段・手順)	防災情報			報道				避難対応				大規模							
				広島地方気象台	三次河川国道事務所	支所 三次河川国道事務所	土師ダム管理所	日本放送協会広島放送局	株式会社中国放送	広島テレビ放送株式会社	株式会社広島ホームテレビ	株式会社テレビ新広島	広島エフエム放送株式会社	三次ケーブルビジョン	三次市危機管理課	三次市社会福祉課	安芸高田市危機管理課	安芸高田市社会福祉課	広島県危機管理課	広島県警察本部	三次警察署	
111	情報の収集	雨量・水位情報の収集	水位・雨量情報の確認（川の防災情報（国管理河川）、県防災情報、自機関の計測器等）	◎	元	元	元							◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
112		道路交通情報の収集	道路情報提供システム（ひろしま道路ナビ）、各機関のホームページ等の確認			◎	◎							◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
113		ライフライン情報の収集	各機関のホームページの確認			◎	◎							◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
114		被害情報の収集	被災状況等の確認（県防災情報、自治体、住民からの情報等）	◎	◎									◎				◎	◎	◎	◎	◎
115		自治体情報の収集	自治体体制状況の確認											◎				◎	◎	◎	◎	◎
116		気象伝達情報の収集	自治体気象伝達状況の確認											◎								
117		避難者情報の収集	避難者数の確認																			
118			避難所の紹介																			
119			要援要配慮確認																			
120			避難所への案内																			
121			避難所の使用可否確認																			
122			避難所への情報提供																			
123			避難所の実施																			
124			確認（実況・予測水位）																			
125			予報の発表の判断	◎	◎																	
126			関係機関への連絡（FAXの着信確認）	◎	◎									○			○		○			
127			住民への周知	◎	◎																	

# 「何を」

# 「誰が」

◆ 防災行動項目  
 「行動種別」、「行動項目」（第1階層を細目化）、「行動手段・手順」（第2階層に対する具体的な手法）の3階層で構成

◆ 役割  
 担当機関の防災行動の役割を明示  
 “◎”：主体的に行動する機関、情報の発信  
 “○”：行動の支援・共同、情報の受信  
 “元”：情報収集に対して、その情報提供元となる機関  
 ※第1階層が「情報の収集」で、タイムライン関係機関がPull型の情報発信

# 江の川上流水害タイムライン(令和元年度版)【概要版】

江の川上流水害タイムライン(令和元年度版)【概要版】は、タイムライン【詳細版】の対応項目(第2階層まで)を抜粋して防災行動の種別ごとに整理しています。対応の全体像を確認するときに活用してください。

タイムラインレベル	事象	トリガー	対応項目									
			防災情報	避難対応	大規模避難・救助	福祉避難施設	浸水時緊急退避施設	社会基盤(土木)	社会基盤(ライフライン)	社会基盤(交通・運輸)	報道・広報	
0	<ul style="list-style-type: none"> <li>3日後に台風または前線が江の川流域に影響するおそれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3日後に台風が江の川上流域に影響するおそれ</li> <li>注意情報(警報級の可能性)【目安:3日後に影響】</li> </ul>	タイムラインレベルの立ち上げ・周知	災害対策用資機材の確認【継続】	災害対策用資機材の確認【継続】	災害対策用資機材の確認			初動体制の確認	管理施設の点検・巡視【継続】	管理施設の点検・巡視【継続】	報道の実施(気象・道路交通情報・注意喚起・啓発)【継続】
			管理施設の点検・巡視【継続】	浸水対策・水防活動の実施【継続】		利用者支援のための情報整理・共有【継続】		管理施設の点検・巡視【継続】	災害対策用資機材の確認【継続】	災害対策用資機材の確認【継続】		
			災害対策用資機材の確認【継続】	消防団(水防団)への注意喚起							浸水対策・水防活動の実施【継続】	
0	<ul style="list-style-type: none"> <li>2日後に台風または前線が江の川流域に影響するおそれ</li> <li>早期注意情報(警報級の可能性)【目安:2日後に影響】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2日後に台風が江の川上流域に影響するおそれ</li> <li>早期注意情報(警報級の可能性)【目安:2日後に影響】</li> </ul>	タイムラインレベルの移行・周知	機関内防災体制の調整・検討	機関内防災体制の調整・検討	自治体との連絡【継続】	機関内防災体制の調整・検討	機関内防災体制の調整・検討	機関内防災体制の調整・検討	機関内防災体制の調整・検討	機関内防災体制の調整・検討	
			機関内防災体制の調整・検討:河川管理者	教育機関への連絡(休校の判断への助言)		浸水対策・水防活動の実施【継続】	防災備蓄品の確認					
			他機関との体制構築【継続】									
			施工中工事の安全確認									
			ダム操作の実施(予備放流・事前放流の実施)									
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>水防団待機水位の超過</li> <li>内水氾濫発生のおそれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期注意情報(警報級の可能性)【目安:1日後に影響】</li> </ul>	タイムラインレベルの移行・周知	機関内防災体制の構築	機関内防災体制の構築(警戒)	機関内防災体制の構築	機関内防災体制の構築	機関内防災体制の構築	機関内防災体制の構築	機関内防災体制の構築	機関内防災体制の構築	
			指定河川洪水予報の実施	要配慮者利用施設との連絡【継続】		利用者の安全確保【継続】	利用者支援のための情報整理・共有【継続】	管理施設への対応【継続】	管理施設への対応【継続】	管理施設への対応		
			水防警報の実施	医療機関への連絡【継続】		利用者の安全確保【継続】	災害対策用資機材の確認【継続】			運休の検討(鉄道)		
			機関内防災体制の構築	教育機関への連絡【継続】			管理施設の点検・巡視					
				避難施設への連絡【継続】								
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>氾濫注意水位超過</li> <li>内水氾濫発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布(注意)</li> <li>洪水注意報</li> <li>大雨注意報</li> <li>大雨警報(浸水害)</li> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(注意)</li> <li>氾濫注意情報</li> </ul>	タイムラインレベルの移行・周知	避難情報の発令(浸水区域外への避難の呼びかけ)	救出活動の実施	福祉避難施設開設の準備	自治体との連絡	浸水対策・水防活動の実施【継続】	浸水対策・水防活動の実施	交通規制の実施(高速・県道)【継続】		
			被害想定の実施【継続】	指定避難所開設の準備	交通規制の実施(交通整理)	応援要請の検討			停電対応のための体制構築	交通規制の実施【継続】		
			指定河川洪水予報の実施(氾濫注意情報)	福祉避難施設開設の準備					市との連絡体制の構築	運休実施(鉄道)【継続】		
			水位周知の実施(氾濫注意水位)	医療機関との連携(人工透析の対応)【継続】					ライフライン供給停止に関わる情報の集約	鉄道運休後の対応(被災)【継続】		
			水防警報の実施	災害対策用機械の派遣要請【継続】								
			ホットラインの実施【継続】	消防団(水防団)への指示(出動)								
			災害対策用機械の派遣実施【継続】									
			ダム操作の実施(放流通知)【継続】									
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難判断水位超過</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布(警戒)</li> <li>洪水警報</li> <li>大雨警報(土砂災害)</li> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)</li> <li>氾濫警戒情報</li> </ul>	タイムラインレベルの移行・周知	避難情報の発令(避難準備・高齢者等避難開始)	災害対策本部の設置	保護者との連絡【継続】	浸水対策・水防活動の実施	災害対策本部の設置(県)	他機関との体制構築	交通規制の実施(国道)【継続】	機関内防災体制の調整・検討	
			指定河川洪水予報の実施(氾濫警戒情報)	避難情報の発令(浸水区域外への避難の呼びかけ)	救援・救助活動の実施	運営体制の整備	交通規制の実施	応急・復旧対応の実施【継続】	交通規制の実施(市道)【継続】	他機関との体制構築		
			水位周知の実施(避難判断水位)	避難施設開設の実施	交通規制の実施【継続】	従業員の安全確保【継続】			停電状況の周知【継続】	参集ルートの指示	取材の実施【継続】	
			水防警報の実施	福祉避難施設への状況報告	信号機の減灯対応	災害対策本部の設置(消防)				運休の実施(鉄道:継続)	気象注意報警報の報道【継続】	
				浸水時緊急退避施設への状況報告						運休情報の提供(鉄道)	報道の実施(避難情報、被害状況、避難所開設情報)【継続】	
				要配慮者利用施設管理者との連絡								
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>氾濫危険水位超過</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布(非常に危険)</li> <li>土砂災害警戒情報</li> <li>土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険)</li> <li>極めて危険</li> <li>氾濫危険情報</li> </ul>	タイムラインレベルの移行・周知	避難情報の発令(避難勧告、避難指示(緊急))	機関内防災体制の構築(県)	他機関との体制構築	浸水時緊急退避施設での受け入れ実施	災害対策本部の設置(市)	リエゾン派遣の実施(市・県)【継続】	従業員の安全確保	他機関との体制構築	
			指定河川洪水予報の実施(氾濫危険情報)	災害対策本部の設置	リエゾン派遣の実施(市・県)	災害対策本部の設置(警察)	緊急退避施設の運営【継続】	リエゾン派遣の実施【継続】	住民支援(給水活動)	記者発表の実施【継続】		
			水位周知の実施(氾濫危険水位)	リエゾン派遣の要請	住民への広報・避難促進	福祉避難施設での受け入れ実施		記者発表の実施【継続】	従業員の安全確保	運休の実施(バス)【継続】		
			水防警報の実施	マスコミ対応の実施	応援要請【継続】	福祉避難施設の運営【継続】	災害規制の実施		ライフライン供給停止の対応			
			機関内防災体制の構築(気象台、ダム管理者)	避難施設の開設・運営【継続】	部隊の派遣検討【継続】	管理施設の点検・巡視【継続】						
			リエゾン派遣の実施(市・県)【継続】	福祉避難施設への受け入れ要請	部隊の派遣【継続】							
			記者発表の実施【継続】	浸水時緊急退避施設への受け入れ要請	管理施設の点検・巡視							
			ダム操作の実施(異常洪水時防災操作)	住民支援(避難行動)	災害規制の実施【継続】							
			浸水対策・水防活動の実施									
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防の決壊</li> <li>土砂災害の発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨特別警報(浸水害)</li> <li>大雨特別警報(土砂災害)</li> <li>氾濫発生情報</li> </ul>	タイムラインレベルの移行・周知	福祉避難施設との連絡	機関内防災体制の構築	応援要請	応援要請(対従業員)	他機関との体制構築	ライフライン供給停止の対応(復旧対応)	リエゾン派遣の実施(市・県)	リエゾン派遣の実施(市・県)	
			指定河川洪水予報の実施(氾濫発生情報)	浸水時緊急退避施設との連絡	リエゾン派遣の実施(市・県)	自治体との連絡		緊急対応の実施				
			災害対策用機械の派遣実施(排水機場ポンプ停止時)	応援要請	道路管理者との連絡							
			緊急対応の実施									







































## 江の川上流水害タイムライン検討会 組織構成

### ○座長

広島大学大学院 工学研究科 河原 能久 教授

### ○構成機関

三次市、安芸高田市、広島県、広島県西部建設事務所、  
広島県北部建設事務所、広島県警察本部、三次警察署、安芸高田警察署、  
備北地区消防組合消防本部、安芸高田市消防本部、  
陸上自衛隊第13旅団司令部、中国電力（株）、（一社）広島県LPガス協会、  
西日本電信電話（株）広島支店、西日本旅客鉄道（株）広島支社、  
西日本高速道路（株）三次高速道路事務所、備北交通（株）、  
協同組合三次ショッピングセンター、協同組合サングリーン、  
（株）ディア・レスト三次、三次農業協同組合、（一社）三次地区医師会、  
（有）ビクトリー観光、社会福祉法人 水明会、  
社会福祉法人 三次市社会福祉協議会、社会福祉法人 ちとせ会、  
社会福祉法人 清風会、日本放送協会 広島放送局、（株）中国放送、  
広島テレビ放送（株）、（株）広島ホームテレビ、（株）テレビ新広島、  
広島エフエム放送（株）、（株）三次ケーブルビジョン、  
気象庁広島地方气象台、国土交通省 三次河川国道事務所、  
国土交通省 土師ダム管理所

### ○事務局

国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所

### ○オブザーバー

国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所